

# Graph JAEA

## No.5

2015年1月

# 図書館を利用する

日本原子力研究開発機構

# JAEA図書館は 原子力関連資料を収集し、公開しています

JAEA図書館（原子力科学研究所図書館）は我が国随一の原子力専門図書館として、専門図書5万冊、学術雑誌2千誌、技術資料（原子力レポート）250万件を所蔵し、研究開発支援のために提供しています。  
詳細は、[こちら](#)。



# 資料を探す

所蔵状況をインターネット(OPAC)から調べることができます。詳細は、[こちら](#)。  
また、所蔵資料の[複写サービス](#)を利用いただけます。インターネットからの申し込みは、[こちら](#)。

JAEA図書館 OPAC  
Japan Atomic Energy Agency's LIBRARY

所蔵資料データベース検索サービス

[利用の手引き] [文献複写について] [English version here]

検索対象: ● 図書/レポート ○ 会議資料 ○ 雑誌 ○ DOCKET

項目名	検索条件
資料名	
著者名	
ISBN	
レポート番号	
発行年	

検索 クリア

【ご案内】

JAEA図書館OPACでは、中央図書館所蔵資料の検索ができます。資料形態ごとの特徴は次のとおりです。文献複写サービスを利用する方は、JAEA図書館OPACにより所蔵の有無をご確認ください。

図書：原子力及び周辺分野の専門図書を約5万冊所蔵しています。分野の割合は、物理23%、原子力16%、化学14%、工学14%です。原子力機構図書館で所蔵する図書は、国際十進分類法(UDC)に基づいて分類されています。

レポート：原子力に関連する約7万件のレポートを所蔵しており、原子力レポートに関しては国内では類をみない貴重なコレクションになっています。これら原子力レポートには、米国エネルギー省(DOE)のレポート、国際原子力情報システム(INIS)の非市販資料等、世界各国の主要な原子力研究機関の技術報告書が含まれています。

会議資料：国内外で開催される会議の資料については、商業ルートで入手できる資料に限らず、灰色文献と呼ばれる商業ルートに乗らない資料も網羅的に収集しています。会議資料を収集する際には、第一線の研究者から得る情報も重要であり、国際会議に参加した機構の研究者から寄贈を受けた会議資料も所蔵しています。

雑誌：原子力及び周辺分野の雑誌を約6000誌所蔵しています(受入停止済み全)

所蔵資料データベース(OPAC)の検索画面

## 図書館を利用する

JAEA図書館は外部の研究者、技術者、学生及び一般の方々もご利用いただけます。館内に、少人数での打ち合わせやプレゼンテーション等にご利用いただける場所(リサーチコモンズ)も用意しています。詳細は、[こちら](#)。



閲覧室(参考図書、規格等のエリア)



リサーチコモンズ

# 福島第一原子力発電所事故関連 情報を保存しています

JAEAでは散逸、消失が懸念される福島第一原子力発電所事故関連情報を保存し、「[福島原子力事故関連情報アーカイブ](#)」として発信しています。  
詳細は、[こちら](#)。

また、福島第一原子力発電所事故の対処に関するJAEAの研究開発成果、国内外の関連文献情報を「[3.11原子力事故参考文献情報](#)」サイトから発信しています。



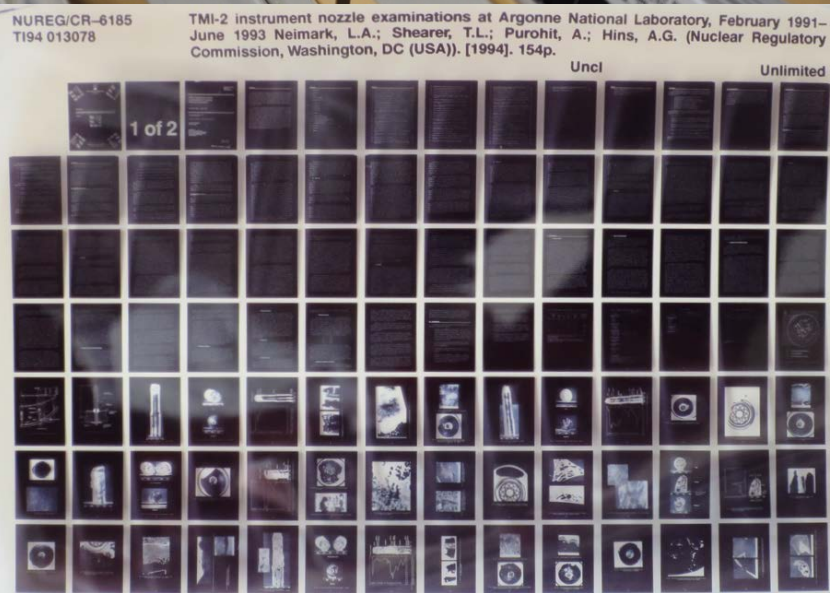
## 研究開発報告書等のフルテキスト

## 参考文献リスト(チェルノブイリ原発事故等)

## こんな資料もあります

JAEA図書館は国内外の主要な研究機関等が作成した技術資料(原子力レポート)250万件以上をマイクロ資料として所蔵しています。

また、国内外で開催される国際会議の会議資料など、灰色文献と呼ばれる書店等からは入手が困難な資料も積極的に収集しています。

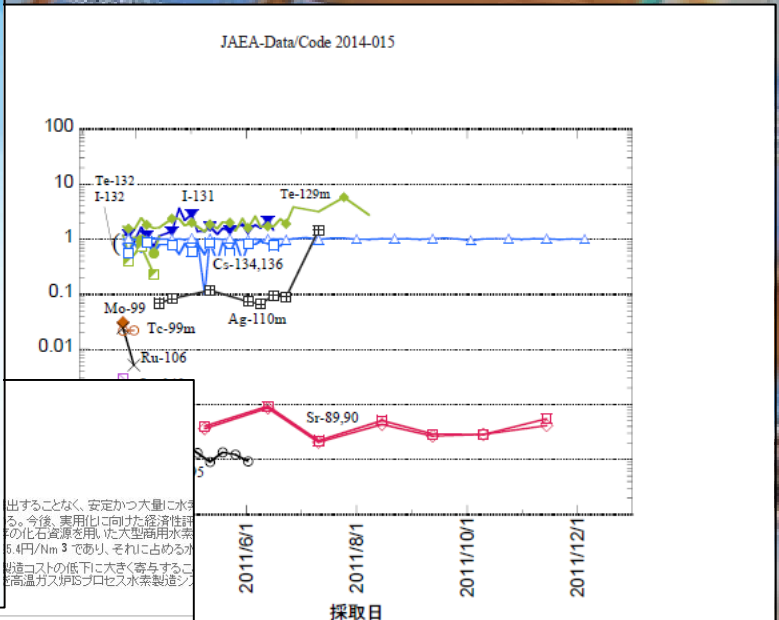


マイクロフィッシュ  
(米国原子力規制委員会の資料)

# 研究開発成果を発信しています

JAEA図書館は、機構が刊行する研究開発報告書類や発表論文の情報をとりまとめて発信しています。JAEA図書館ホームページでは、その情報が検索でき、全文へのリンクも提供しています。情報検索は、[こちら](#)。

また、これらの研究開発成果をダイジェストで紹介する成果普及情報誌「[原子力機構の研究開発成果](#)」を発行しています。



出ることなく、安定かつ大量に水ける。今後、実用に向けた経済性評価の比石資源を用いた大型炉用燃料6.4円/Nm<sup>3</sup>であり、それと比べると、リサイクルの底下に大きく寄与すること高温ガス炉にプロセス水素製造シ

## 6 地質環境の長期安定性に関する研究、年度報告書、平成26年度

安江 健一、浅森 浩一、丹羽 正和、國分 陽子、小堀 和雄、幕内 歩、松原 章浩、柴田 健二、田村 肇、田辺 裕明, et al.  
 JAEA-Review 2014-033, 2014/09

[JAEA-Review-2014-033.pdf16.91MB](#)

本計画書は、高レベル放射性廃棄物の地層処分における地質環境の長期安定性に関する研究についての第2期中期計画期間(平成22年度)の研究開発計画である。本計画の策定にあたっては、「地質環境の長期安定性に関する研究」基本計画(第2期中期計画)に基づき、第1期中期計画における研究開発の成果、平成22年度から平成23年度の研究開発の成果、関係研究機関の動向や大学等で行われている最新の研究成果を考慮した。研究の実績にあたっては、最終処分事業の概要調査や安全審査基本指針等の検討・策定に研究成果を適時反映できるよう、期子測・影響評価モデルの開発、(3)年代測定技術の開発の三つの枠組みで研究開発を推進していく。

## 7 平成24年度研究開発・評価報告書、評価課題「量子ビーム応用研究」(中間評価)

量子ビーム応用研究センター  
 JAEA-Evaluation 2014-004, 2014/09

[JAEA-Evaluation-2014-004.pdf29.31MB](#)

日本原子力研究開発機構(以下、「原子力機構」といふ)は、「国の研究開発評価に関する大綱的指針」(平成20年10月31日閣議決定)に基づき、文部科学省における研究及び開発に関する評価の指針(平成21年2月17日文部科学大臣決定)ならびに原子力機構の「研究開発費」(平成21年6月19日改正)に基づき、量子ビーム応用研究に関する評価評価を量子ビーム応用研究・評価委員会に諮問した。この委員会を、本委員会によって定められた評価方法に依り、原子力機構から提出された平成22年4月から平成24年9月までの量子ビーム応用研究の実施状況に関する説明資料の検討を行った。本報告書は、量子ビーム応用研究・評価委員会より提出された中間評価の内容を要

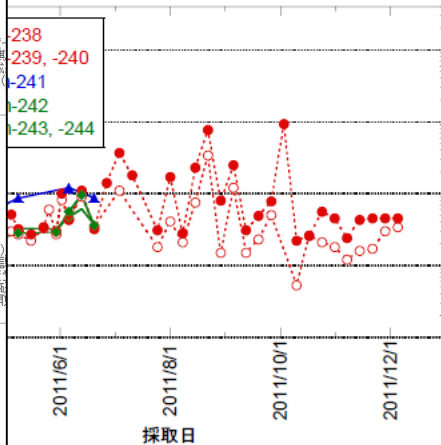
## 8 福島第一原子力発電所内の土壌への放射性核種の移行

駒 義和  
 JAEA-Data/Code 2014-015, 2014/09

[JAEA-Data-Code-2014-015.pdf2.2MB](#)

東京電力福島第一原子力発電所の事故において放射性核種が環境に放出された。東京電力は原子炉周辺の土壌を採取し、分析した結果を内て存在した燃料の組成を用いて、<sup>137</sup>Csを基準とした輸送比を計算した。

に観測されたγ線放出核種及びSr核種の輸送比



試料に観測されたα線放出核種の輸送比

# The 37<sup>th</sup> Consultative Meeting of the INIS Liaison Officers

14-15 October 2014, Vienna



## 日本の原子力情報を、世界に発信しています

JAEA図書館は国内の原子力文献情報を国際原子力機関（IAEA）の国際原子力情報システム（INIS）データベースに提供し、研究成果の国際的な発信に貢献しています。[INISデータベース](#)には、現在約370万件の文献情報が収録され、無料で利用できます。詳細は、[こちら](#)。



図書館の全景

JAEA図書館は1959年に竣工しました。2011年の東日本大震災では建物の一部が被災しましたが、改修工事を終え、2014年6月にリニューアルオープンしました。

## No5 contents

- 02 JAEA図書館は原子力関連資料を収集し、公開しています
- 03 資料を探す、図書館を利用する
- 04 福島原発事故関連情報を保存しています
- 05 こんな資料もあります
- 06 研究成果を発信しています
- 07 日本の原子力情報を、世界に発信しています

## graph JAEA

2015年 1月 No. 5  
独立行政法人 日本原子力研究開発機構 広報部  
〒319-1184 茨城県那珂郡東海村村松4番地49  
電話:(029)282-0749

JAEA図書館

検索

